



たつの市立河内小学校

〒671-1664

たつの市揖保川町金剛山 604

TEL 0791-72-2129

FAX 0791-72-6213

HP <https://kochisyo.tatsuno.ed.jp>

ともに学び合い、心身ともに健康でやさしい河内っ子

新年 明けましておめでとうございます

昨年は保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には本校教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も、教職員一同力を合わせて、子どもたちの健やかな成長と地域と共に歩む教育活動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



さて、児童の皆さん、いよいよ本年度のまとめと次年度の進級・進学に備える3学期が始まります。新しい年を迎え、大きな夢を描くのと同時に、「今年はどうしてみよう」という具体的な目標や抱負、希望を抱いて3学期を迎えてほしいと思います。3学期は、1学期や2学期とくらべて短く、まとめの学期になりますので、学習や運動を前向きにチャレンジしてみてください。少し意識を変えるだけで、子どもたちの学校生活の意欲はさらに高くなります。目標実現に向けて努力することは美しく、人の感動を誘います。しかし、その努力も思いつきや気まぐれでは成果を期待できません。子どもたち一人一人が1歩前を出て、新しいステージの準備の期間ととらえてスタートをきれればと考えます。どの学年の子どもたちにとっても、次の学年への大切な時間であることを伝え、「あたりまえのことをしっかりしていく」、そして、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していけるよう支援してまいります。特に6年生にとっては、卒業・進学という人生の節目を迎えようとしています。子どもたちが、自分の目標をもって学校生活を送ることができるように全職員で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。

☆ 表彰 おめでとう ☆

2025.1.6 現在

- たつの消防署 防火図画展
最優秀賞 1年 岸本 悠之介
- 第68回「JA 共済小・中学生書道コンクール」
半紙： 条幅：
- 緑化作品コンクール（緑化標語） 「とどけよう あふれる緑 未来へと」

異学年交流を楽しむ

河内小学校は、各学年の人数が10人前後と少ないので、異学年で関わる取り組みを大切にしています。相手を思いやり、繋がる心は河内ならではの、素敵な関係を築いています。

12/12 縦割り活動



12/16 O×クイズ(企画)





2月の行事予定

- | | |
|--|------------------------|
| 3日(月) 委員会活動 | 18日(火) ALT 移動図書館 定時退勤日 |
| 4日(火) ALT 学校児童会 定時退勤日
職員研修(全校児童14:50下校) | 19日(水) 民推協中央研修会 |
| 5日(水) ミニ地区児童会 民推協理事会 | 20日(木) 縦割り活動 |
| 6日(木) 1・2年:リズムジャンプ | 23日(日) 天皇誕生日 |
| 7日(金) 新1年生入学説明会 | 24日(月) 振替休日 |
| 8日(土) 人権を考える市民の集い(アクア) | 25日(火) ALT 笑顔の日 定時退勤日 |
| 11日(火) 建国記念の日 | 3月3日(月) 委員会活動(最終) |
| 13日(木) 授業参観 学級懇談(P役員選出)
学校評議員会 | 4日(火) ALT 学校児童会 定時退勤日 |
| 14日(金) 安全の日 | 5日(水) PTA 委員会 |
| 15日(土) ゆめクラブ解散式 | 6日(木) 6年生を送る会 |
| | 7日(金) 揖保川中学校 卒業式 |
| | 21日(金) 卒業証書授与式 |
| | 24日(月) 修了式 |
| | 25日(火) ~4/7(月) 春季休業日 |

毎月25日は笑顔の日
ノーゲーム ノースマホデー



どうせいいぞく 同声異俗

「子どもへの2種類のほめ方」 ~あなたがいてくれるだけで嬉しい~

「子どもはほめて育てるとよい」ということは、すでに通説となっているように思います。ほめ方ですが、テストで百点をとって帰ってきたとき、また、運動会で1等だったとき、お子さんにどのような言葉をかけますか。たいていは「百点だったの。よくがんばったね。」「運動会1等だったね。すごい!」というほめ方をすると思います。これは一見、適切なほめ方のように思えますが、その裏には「百点だったから」「1等だったから」ほめるという結果主義が見えます。そうやってほめられてきた子は「百点でなければ(1等でなければ)うれしくない」というこだわりが強くなり、そこに至る過程を楽しめなくなる可能性があるということ、以前ある研修会で教わりました。一人一人の子どもが同じような努力をしても、全員が同じような結果になるとは限りません。その結果が満足のいくものであってもなくても、そこに至るまでの過程を十分に認め、ほめてあげることが大切です。特に結果が良かった時などは、ついその結果ばかりをほめてしまいがちになりますが、そういう時にこそ、そこに至るまでの過程を認めることを大事にしていきたいです。

子どものほめ方には2種類あるということも、研修会で学びました。一つは、前述のような、子どもの行動をほめることです。つまり、子どもがやり遂げたこと、努力したことを認めることです。もう一つは、子どもの存在そのものをほめることです。これは、特に何かをしなくてもほめられる、文字通り存在するだけでほめられるというものです。どちらもとても大切ですが、ご家庭で特に大切にしていたきたいのは後者です。なぜなら、「あなたがいてくれるだけで嬉しい」ということを伝えられるのは、家族の他にあまりいないからです。けれども「存在そのものを認める」ことは、頭の中では思っても、日常ではあまり子どもに伝えていないのではないのでしょうか。子どもは誰かに「存在そのものを認められている」と思えるだけで、長所も短所も併せもった自分を「価値ある人間だ」という自己肯定感を育てることができます。自己肯定感をもてた子は、他者の違いを理解し、認め、他者を思いやることもできます。

わたしも、成功や優劣に関係なく、「ただそこにいてだけで十分だ」という温かいメッセージを早速、我が子に送ろうと思います。かけがえのない存在なのだから…。【キッズカウ 参考】



“巳年” 十二支(えと)は中国の殷(いん)の時代から十干(じっかん)と組み合わせられて日付を記録するのに利用されている。その後戦国時代より、年・月・時刻・方位を表すためにも利用されるようになった。巳年の特徴は、復活と変化の象徴とされ、新しいことが始まる年とされる。また、蛇は、脱皮を繰り返して再生するイメージから、新たな挑戦や成長に前向きになるといわれる。さらに、金運の象徴としても知られており、「豊かさ」や「繁栄」、「実(巳)入りする=収入がある」ともいわれている。